

山 行 報 告 書

山 名： 蔵王・熊野岳 (1840m) スノーシューハイク

(山形県山形市)

入山日：平成 30 年 1 月 28 日(日)～29 日(月)

メンバー・報告者： 岩田

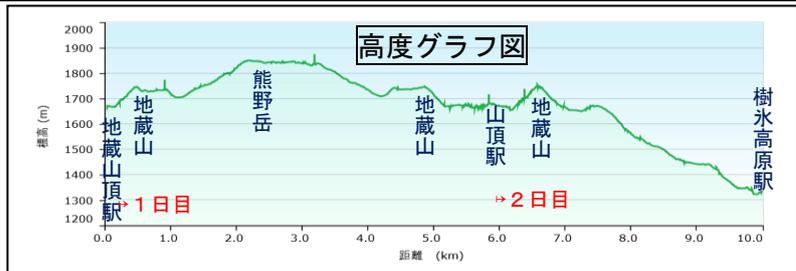


第一日目 1 月 28 日(日)：晴 【電車・バス】 6:38 大宮 つばさ 121 号⇒8:57 山形 9:20 山形駅前 1 番⇒(バス)⇒9:57 蔵王温泉バスミナル (凡例：⇒⇒ ロープウェイ)

10:40 蔵王ロープウェイ・山麓駅 855m⇒⇒樹氷高原駅(乗換)⇒⇒11:15 地蔵山頂駅 1661m 11:45→12:05 地蔵山 1736m→13:10～30 熊野岳 1840m→14:30 地蔵山→14:45 地蔵山頂駅 16:40⇒⇒樹氷高原駅(乗換)⇒⇒17:10 山麓駅→17:40 国民宿舎竜山荘 (泊) ☎023-694-9457 徒歩計 3 時間

第二日目 1 月 29 日(月)：雪 9:30 蔵王ロープウェイ・山麓駅⇒⇒樹氷高原駅(乗換)⇒⇒9:50 地蔵山頂駅 10:15→10:48～58 地蔵山→11:15 地蔵山頂駅 11:25→ザング坂・樹氷原コース→12:25 樹氷高原駅⇒⇒12:38 山麓駅 13:50～14:55 新左衛門の湯 入浴 徒歩 2 時間 10 分

【バス・電車】 15:20 蔵王温泉バスミナル⇒(バス)⇒16:05 山形駅 17:05 つばさ 154 号⇒19:22 大宮



感想：山形駅より増発バス 2 台 80 人ぐらいの乗車で、40 分で蔵王温泉に着いた。ロープウェイは少し混雑していて途中樹氷高原駅で乗り継ぎ、地蔵山頂駅に到着した。周りから聞こえてくるのは中国語が多く、7～8 割は中国系の観光客だ。駅から外へ出ると、そこはアイスモンスター（樹氷）の世界だ。スノーシューを履いてます地蔵山を目指した。樹氷の間をぬって登っていくが、登山者は少なく、スキーヤーはいない。前方に熊野岳を望みながら進み、途中ところどころに棒が立っていて、目印になり助かる。なだらかな尾根を行くと熊野岳山頂に着いた。そこは雪に覆われて真っ白。風はやや強く風速 15～20m/s か。下り始めた頃からガスが出てきて、視界 5m ぐらいで行く方向がさだまらないが、GPS を頼りに進んだ。まもなく上海から来たという中国人二人が、うろろしてレイク(湯釜)へ行きたいと言ってきた。このホワイトアウトでは無理だと説得して、結局あとをつけてきて山頂駅まで一緒に無事戻った。戻ると日も射ってきて辺りを二時間ぐらい写真を撮りながら散歩した。国民宿舎竜山荘は 6 時から夕食タイムで、宿泊者は 12 名プラス幼児 2 名。

二日目は昨日のような混雑はなく、ロープウェイはスムーズに乗ることができ、再び山頂駅にきた。雪が降り視界 5m 位。地蔵山頂まで登ったが、相変わらず視界は悪く、折り返し山頂駅まで下山した。ここから約一時間ザング坂・樹氷原コースを中間駅の樹氷高原駅まで歩いた。ロープウェイで山麓駅まで帰り、昼食後、新左衛門の湯で入浴した。雪見の露天風呂は最高。帰宅後、翌 30 日に蔵王山(熊野岳)で火山性微動を観測し、噴火警戒レベルが 2 に引き上げられ、驚いた。以上